

TS-STH700

取扱説明書

INPUT **50W MAX.**

カーステレオ用スピーカー
57 mm × 30 mm × 2 2ウェイサテライトスピーカー

正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は、保証書と一緒に大切に保管してください。お車への取付けは、必ずこの取扱説明書と別刷りの「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると事故やケガの原因となることがあります。また、お車への取付けは、販売店様にご相談ください。

●ご注意とお願い

「安全上のご注意」を必ずよくお読みください。

⚠ 注意

- ⚠ 荷物の出し入れ時や走行中、荷物などが当たってキズがついたり、破損したりする恐れがありますので、ご注意ください。
- ⚠ 荷物の出し入れ時など、頭をぶつける恐れがありますので頭上には充分ご注意ください。
- ⚠ 本機をご使用になる時は、音量を上げすぎないように注意してください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。
- ⊘ 本体が乗員やシートのヘッドレストなどに常時干渉する位置には取付けしないでください。ケガや破損の原因となります。
- ⊘ エアバッグが装着されている場所には取付けしないでください。エアバッグの動作を妨げ、交通事故やケガの原因となることがあります。
- ⊘ 取付時および取付後に本体を強く引っばる、ぶら下がるなど荷重をかけないでください。ネジや金具、本体などの破損によりケガの原因となることがあります。同様に、配線を強く引っばる、ぶら下がるなど、荷重をかけないでください。本体の破損やコードの断線などの恐れがあります。

- ・真夏や真冬などは、車室内の温度が極度に变化していますので、車室内を適温にしてご使用ください。
- ・カーテンエアバッグなどを装着していないことを確認後、取付けてください。

●仕様

- ・再生方式……………密閉型 2 ウェイ
- ・スピーカー仕様
ウーファー……………口径 57 mm×30 mm 2面(φ66 mm 相当)角型両面駆動 HVT ユニット
クロスロールエッジ
フラット構造ボイスコイル
積層ガラスファイバー振動板
ネオジムマグネット：9.2 g
- トウイーター……………φ22 mm バランスドームトウイーター×2
軽量ダイアフラム
磁性流体使用(磁気回路)
ネオジムマグネット：1.25 g×2
- ・キャビネット……………耐熱樹脂
- ・インピーダンス……………4 Ω
- ・総合音圧レベル* ……80 dB
- ・再生周波数帯域 ……110 Hz ~ 40 000 Hz
- ・瞬間最大入力 ……50 W
- ・定格入力 ……10 W
- ・イルミネーション仕様
使用電源……………12 V
消費電力……………144 mW(12 mA)
アース方式……………マイナスアース方式
ヒューズ容量……………500 mA
- ・サイズ……………125 mm×113 mm×19 mm
- ・質量(付属品を含む 1 個) ……0.31 kg
- ・総質量(梱包材を含む 2 個) ……1.15 kg

上記の仕様、および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

*表裏両面のコーン紙から放射される音圧としての理論値

●特長

- 1.新開発の両面駆動 HVT(Horizontal-Vertical-Transforming) 方式を採用したサテライトスピーカー
1つのボイスコイルを水平方向(Horizontal)に振動させ、リンク機構を介して2枚の振動板を垂直方向(Vertical)の振動に変換(Transforming)する両面駆動HVTユニットを新開発。ボイスコイルの振動を制限することなく、薄型化と豊かな中低域再生の両立が可能となりました。
- 2.取付向きや車室内形状に左右されず、均一な音場空間を実現する無指向性スピーカー
2枚のウーファー部振動板が両面に振動する新開発HVTユニットと、両面に配置された新開発の薄型22 mmソフトドームトウイーターを組み合わせることで、後方視界やインテリア性を犠牲にすることなく、高音質で広がりのある音場空間を創出する画期的な無指向性スピーカーを実現しました。
- 3.新フレキシブル取付金具の採用により、幅広い車種で多彩な取付方法を実現
音質を犠牲にすることなくお好みのアングルを選べるという無指向性スピーカーの特徴を生かす取付を実現するために、ボールジョイント機構を採用した新フレキシブル取付金具を開発。無段階の取付角度に対応し、好みの角度や車両形状などに応じた多彩な取付が可能になりました。
- 4.ブルーイルミネーションにより車室内を高品位に演出
キャビネット側面のブルーイルミネーションがスモールランプスイッチと連動し、車室内空間を高品位に演出します。

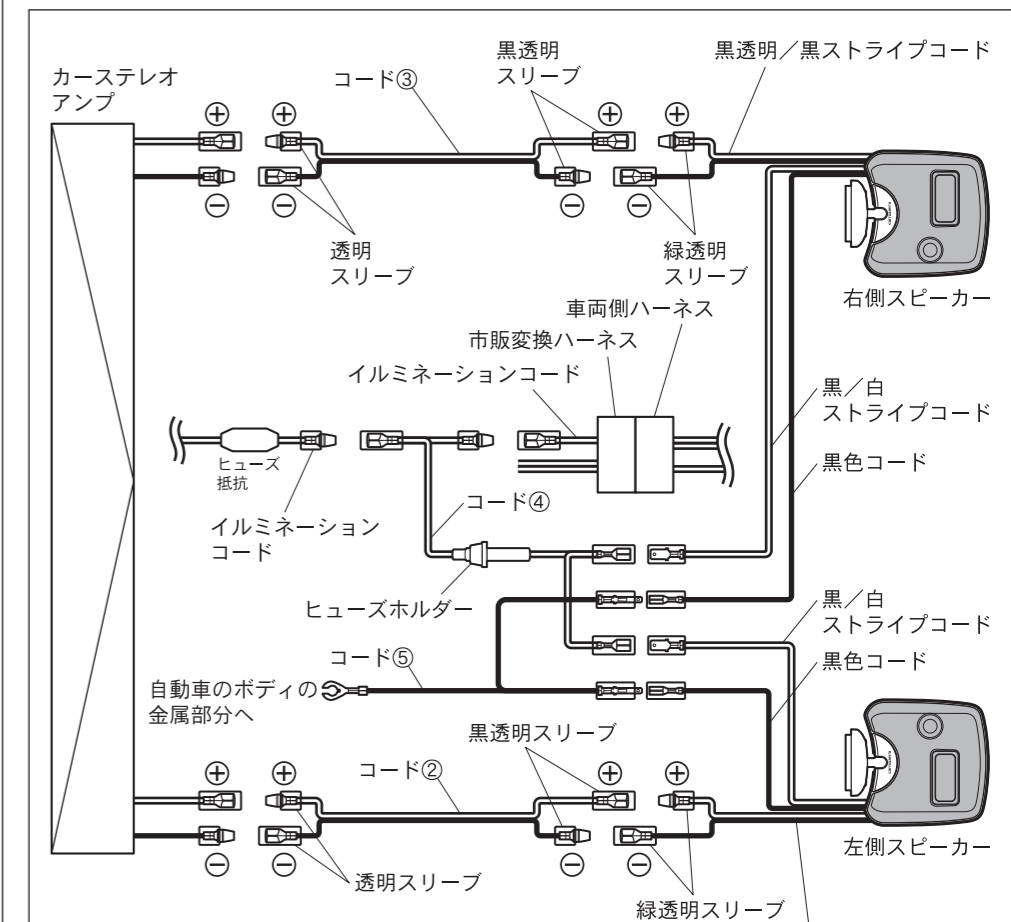
●付属品

- ①六角レンチ……………×1
- ②コード(白ストライプ)……………7 m……………透明/白ストライプ……………×1
- ③コード(黒ストライプ)……………7 m……………透明/黒ストライプ……………×1
- ④配線コード(イルミネーション⊕用)……………×1
3 m……………7 m……………7 m……………
……………橙色/白ストライプ……………
- ⑤配線コード(イルミネーション⊖用)……………×1
2 m……………2 m……………
……………黒色コード……………
- ⑥フィッティングカバー……………×2

●準備する工具類

コードを接続する際、内張りなどを分解する必要がある場合は、ドライバー、内張りはがしなどをご用意ください。

●接続図



●イルミネーションコード接続

付属のイルミネーションコード④を、市販ハーネスのイルミネーションコードとメインユニットのイルミネーションコードの間に接続してください。その際、必ずコードに組み込まれた端子同士で接続を行ってください。イルミネーションコード④⑤とスピーカーからでている黒/白ストライプコード、黒色コードの青透明スリーブ同士を接続してください。

●配線のご注意とお願い

- ⚠ 本機への配線は、必ず付属のコードを使用してください。また、イグニッション、車載コンピューター、ハーネスなど、ノイズを多く発生するものと近付けないように配線し、ご使用ください。
- ⚠ スピーカーへの配線は極性を間違えないように、正しく配線してください。スピーカーの極性(+、-)を間違えて配線しますと低音感の乏しい音になります。
- ⚠ イルミネーションは、車のライトをONにした時に電源が供給される電源回路(時計の照明回路やスモールランプ回路など)に接続してください。その他の回路(ブレーキランプ・方向指示器)に接続すると、道路運送車両法の違反になります。
- ⚠ イルミネーションコード・スピーカーコードを配線する際、車のシャーシに挟まれてショートしないように十分注意してください。
- ⚠ 接続する際、お手持ちのカーステレオの取扱説明書も参照してください。

●取付方法(ご注意)

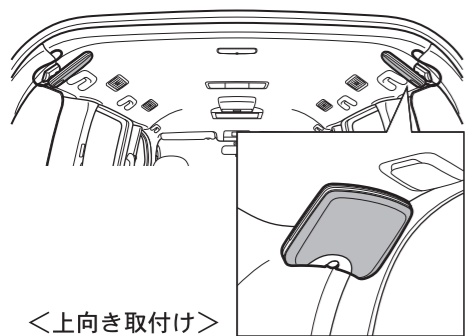
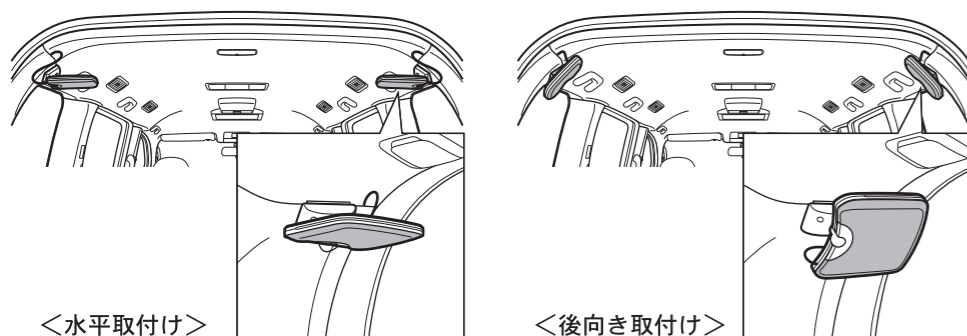
「安全上のご注意」を必ずよくお読みください。

取付不備を含め、指定の部品を用いない取付け、取扱説明書以外の方法での取付けなどによって起きた事故に対して、当社は責任を負いかねますのでご注意ください。

⚠警告

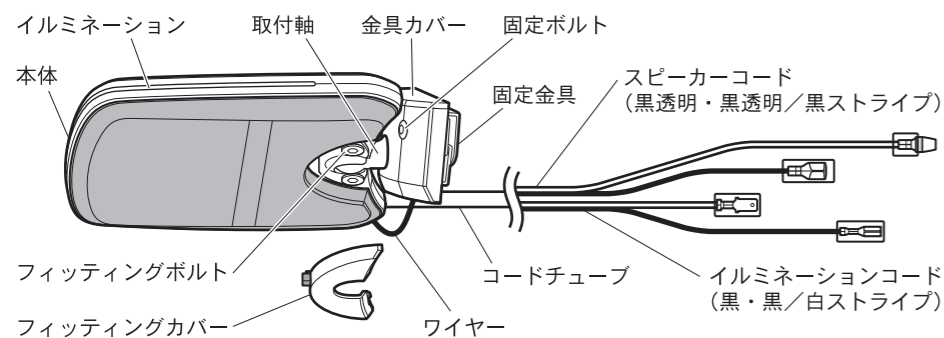
- ❗ 必ず付属の部品を使用して、しっかり固定してください。指定以外のものを使用すると内部の部品をいためたり、ゆるんで外れたりする危険性があります。
- ❗ 取付けには必ず適合する工具を使用してください。適合しない工具あるいは変形した工具を使用するとしっかり固定できずに、外れたりして危険です。
- ❗ 付属のワイヤーを必ず使用してください。使用しない場合、万一落下した際、事故やケガの原因となります。
- ❗ 使用中に、ネジのゆるみや金具の取付けにがたつきがないか、ときどき点検を行ってください。ゆるみやがたつきがある状態のまま走行しますと、本体が外れて落下し、事故やケガの原因となることがあります。
- ❗ 本機を車載以外(レジャーボートや二輪車など)で使用しないでください。火災や故障の原因となります。
- ⊘ お車への乗降りの支障のある場所に取付けないでください。ケガや破損の原因になります。
- ⊘ 取付金具を分解したり、改造しないでください。ケガや破損の原因になります。

●取付例

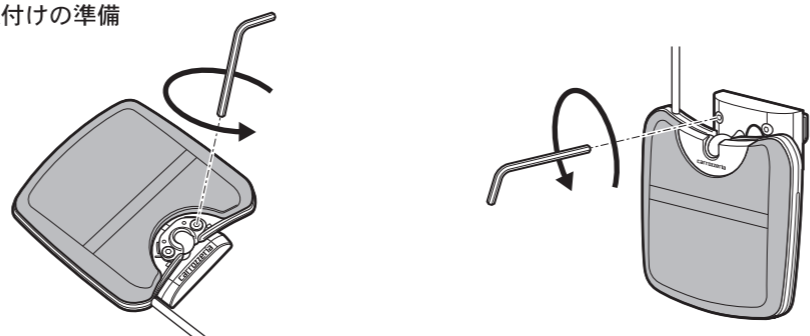


●各部の名称と取付けの準備

① 各部の名称



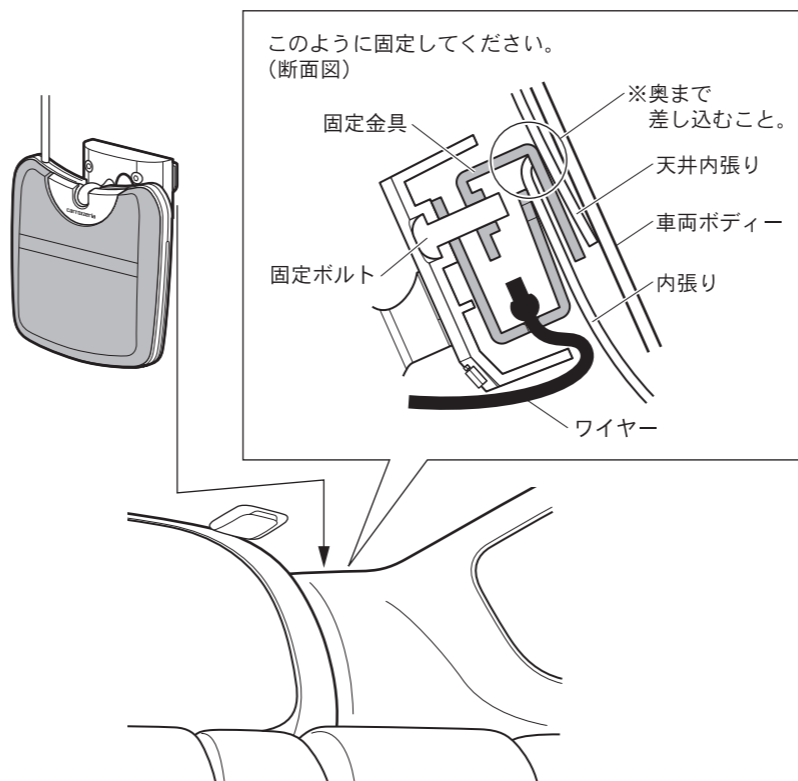
② 取付けの準備



●取付方法

1. 取付位置を決め、内張りに固定します。(図は助手席側の場合です)

車両の内張りをマイナスドライバーなどで軽く広げ、固定金具部分を内張りに差し込みます。その際、固定金具を下図のように奥まで差し込んでください。六角レンチ①を使用し、固定ボルト2本を締め付け内張りに固定します。

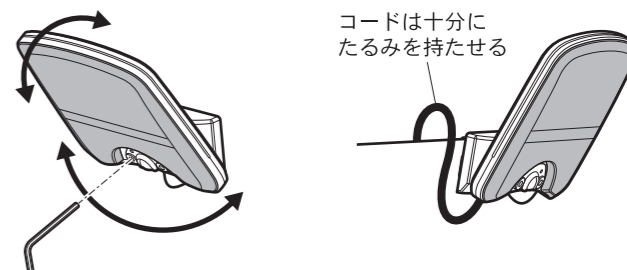


- ⊘ 最後部座席より後ろのピラーに取付け、それ以外の場所には取付けないでください。交通事故やケガの原因になります。
- ⊘ 下記場所に取付けないでください。交通事故やケガの原因になります。
 - ・エアバッグなど安全装置の妨げになる場所
 - ・内張りの強度が弱い場所
 - ・乗員の頭および、シートのヘッドレストに干渉する場所
 - ・乗降時乗員に干渉する場所
 - ・後方視界を妨げる場所

- ⚠ 固定金具を奥まで差し込んで取付けてください。隙間がある状態で取付けますと、衝撃などで金具が抜け商品が脱落してケガをする可能性があります。
- ⚠ 固定ボルトの締めすぎにご注意ください。締めすぎると金具が変形し、固定が弱くなるおそれがあります。
- ⚠ 取付ける際に、ワイヤーを金具の部分に挟まないでください。ワイヤーを挟んだ状態で取付けますと衝撃などで金具が抜け、商品が脱落してケガをする可能性があります。

2. アングルの調整を行い、コードの長さ調整を行います。

お好みのアングルに合わせ、製品の向き・アングルを調整し、六角レンチ①を使用し、フィッティングボルトを締め付けてアングルを固定します。



フィッティングボルトを緩めることによりアングルの調整は可能ですので、調整した際にコードが突っ張らないように十分にたるみを持たせるように長さを調整します。

※取付けによりコードの見え方が気になる場合は、左右のスピーカーを入れ替えることで、コードの出口を前後逆に配置することも可能です。

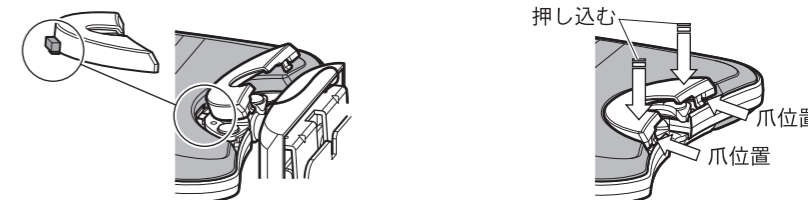
- ⚠ アングルを調節する場合は、必ず付属の六角レンチ①でフィッティングボルトを緩めてから行ってください。緩めないままムリに力を加えますと金具が折れてケガをするなどの危険性があります。
- ⚠ アングル調節後、ネジが緩んだ状態のまま走行しますと、スピーカーが外れて落下するなど、大変危険ですので、必ずフィッティングボルトと固定ボルトの両方をしっかりと締め付けた状態で走行してください。
- ⚠ スピーカーからのコードを配線する際には、必ずコードをたるませた状態にしてください。コードをたるませない状態で取付けた場合、振動によりコードの断線などの恐れがあります。
- ⚠ 製品アングルを設定する際は、フィッティングボルトを締め付ける六角レンチ①のスペースを確認しながらアングル調整を行ってください。

3. フィッティングカバーを取付けます。

フィッティングカバー取付け前に、フィッティングボルトがきちんと締め付けられているか確認してください。

フィッティングカバー⑥の突起部を、商品

爪左右2箇所が本体にカチッと入るまでフィッティングカバーを押し込みます。

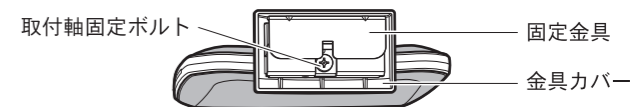


- ⚠ フィッティングカバーの爪部を商品側へ押し込む際、誤って爪を折らないようにガイドに当たっていることを確認したうえで押し込んでください。

●アングルを再調整する際に、フィッティングカバーを外す必要があります。

フィッティングカバーの外し方
 爪位置のすき間に、細いマイナスドライバーの先端を入れ、こじってください。

- ⚠ carrozzeria の表示がある方は外せません。



- ⚠ 取付軸にがたつきが生じた場合、取付軸固定ボルトを締め付けてください。

●故障かな?と思ったら

ちょっとした操作のミスや配線違いなどで故障と間違えることがあります。修理をご依頼される前に、スピーカーのコードが外れていたり断線していないかどうか、スピーカーコードの極性(+)、(-)が合っているかどうかのチェックをしてください。